

会議結果報告書

令和6年11月21日

会議の名称	令和6年度 第1回舞鶴市文化事業企画懇話会	
種別	<input type="checkbox"/> 附属機関 <input checked="" type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和6年10月30日(水)19時00分から20時15分	
開催場所	舞鶴市総合文化会館 研修室1	
出席者	<委員> 福本委員長、椿副委員長、塩見委員、曾根委員、仲野委員、山本委員 <事務局> 福田生涯学習部長他4名	
議題	(1)会長、副会長の選出 (2)令和5年度事業実績について (3)令和6年度事業計画について (4)令和7年度事業計画について (5)その他	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 部分公開	[理由]
傍聴者数	0名	
審議結果及び主な意見等	別添会議録のとおり	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		

担当課	舞鶴市 生涯学習部 文化振興課 TEL (0773) 66 - 1019
-----	---

令和6年度第1回舞鶴市文化事業企画懇話会 会議録

日時：令和6年10月30日（水）19：00～20：15

場所：総合文化会館 研修室1

出席：塩見委員、曾根委員、椿委員、仲野委員、福本委員、山本委員
（事務局）福田部長、三方次長、奥本館長、後係長、森下

会議内容：

1. 開会あいさつ（生涯学習部長）
2. 委員および事務局の自己紹介
3. 会長及び副会長の選出
会長：福本委員（委員推薦）
副会長：椿委員（委員推薦）
4. 議題：
 - （1）令和5年度事業実績について
 - （2）令和6年度事業計画について
 - （3）令和7年度事業計画について
 - （4）その他

【委員からの主な意見】

（1）～（3）事業実績及び事業計画について

■事務局より

- ・今回は主に「子ども」や「障害者」向け事業について今後どのような事業を企画すべきか、ご意見をいただきたい。

[障害者向けの事業に関する意見]

- ・障害者施設の利用者の作った作品はあるが、発表の場がないのが課題。
利用者の絵画等の創作物を見てもらえる機会があれば、閉鎖的になりがちな障害者施設のことをより多くの人に知ってもらえるのでは。
- ・「みずなぎのアートデリバリー」はどうか。
…みずなぎ学園の利用者が制作した絵画等を人の目に触れやすい場所に展示し、2ヶ月おき等に展示物を交換するというもの
- ・以前実施した打楽器アーティストによる障害者施設へのアウトリーチはとても楽しかった。障害者施設の利用者は普段文化に触れることができる機会が少ないため、触れる機会をもらえて喜んでいて。
アーティストの姿を間近で見るといった経験は利用者にとって大切。
- ・「文化の見本市」のようなものを障害者施設にも取り入れてもらえると嬉しい（例：1時間くらいでアウトリーチによる文化体験）。

[子ども向け事業や学校に関する意見]

- ・PTAの行事がマンネリ化している。市の文化事業や市内文化団体等とつながりを持ってほしい。
- ・地域の子ども太鼓について
コロナが明けて再始動しようという動きはあるが、子どもの数や熱意等が地域によって差があり、実施に苦慮している。このままでは、子ども太鼓の文化が途絶えてしまう。子どもが文化に親しむ機会は大人が作るべき。
→「地域の残したいもの×フリースタイルフットボール」のようなコラボはどうか。アーティストどうしが他ジャンルの演奏等を行うのも面白い。これによって、これまでにない文化に触れる入口作りができるのでは。
→太鼓は、誰でも身近に体験することができる素晴らしい伝統文化。この文化を義務感ではなく「楽しい」「かっこいい」から取り組んでもらえるようになってほしい。各地域の太鼓マスターを目指すというのも面白い。
→支援学校でも太鼓の演奏を行っている。コラボできれば良い。

[その他の意見]

- ・普段文化に触れる機会のない人にも、より身近に、気軽に文化に触れてもらいたい。敷居が低く初めてでも入りやすい窓口があれば活性化するのは。
- ・より広く多くの方に文化へ興味を持ってもらうためには、人が集まる場で実施すべき。
- ・以前、「いいむろなおきさん」による『パントマイムワークショップ』や、綾部のペンキアーティスト「しょうげんさん」と『アートキャンプ』を開催し、充実した行事となった。親しみやすい分野なので、また実施してみてもどうか。
- ・劇団ニットキャップシアターが上演した引揚を題材にした演劇「よりそう人」舞鶴公演は、舞鶴の文化資源発信のためにも令和8年度以降実施したい
- ・公民館は地域住民が集う身近な場所であり、実際、地域の方を先生に公民館で文化の分野に関する教室もやってもらっている。集客力でいうと人が多く集まる赤れんがパークでの開催も良いが、公民館との連携ができれば、より身近な人の集まる場で文化の裾野を広げられるのでは。
- ・アートで生計を立てられるくらい裾野を広げていけたら良い。そのような活動を市の事業から脈々と繋がっていけたら良いと思う。
アートを職業にして生活することが難しくても、楽しむのは誰でもできるため、文化がより身近になっていくと嬉しい。

(4) その他

■事務局より

- ・次回の懇話会については今後日程調整をする。(11月頃を予定)
- ・次回は「外国人」向けの事業等についてご意見をいただきたい。